

この添付文書をよく読んでから使用して下さい。
また、必要時に読めるように保管しておいて下さい。

承認番号 20300AMZ00516000

2019年12月作成(第1版)

体外診断用医薬品

Code 461-79001

469-79002

クラスⅡ汎用・生化学検査用シリーズ ロイシニアミノペプチダーゼキット

Lタイプワコー LAP

(識別記号: **nx-c**)

(L-ロイシル-*p*-ニトロアニリド基質法)

〔一般的な注意〕

- (1) 本製品は体外診断用であり、それ以外の目的に使用しないで下さい。
- (2) この添付文書に記載された使用方法に従って使用して下さい。記載された使用方法及び使用目的以外での使用については、測定値の信頼性を保証しかねます。
- (3) 測定機器は取扱説明書に従い適切な条件下で使用して下さい。なお、詳細については機器メーカーに問い合わせて下さい。
- (4) 測定結果に基づく臨床診断は、臨床症状や他の検査結果と併せて担当医師が総合的に判断して下さい。

〔形状・構造等(キットの構成)〕

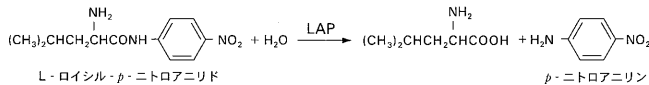
- (1) 緩衝液
(リン酸緩衝液)
- (2) 基質液
(L-ロイシル-*p*-ニトロアニリド)

〔使用目的〕

血清中又は血漿中ロイシニアミノペプチダーゼ(LAP)の測定

〔測定原理〕

リン酸緩衝液中でL-ロイシル-*p*-ニトロアニリドに試料を作用させますと、試料中のロイシニアミノペプチダーゼにより*p*-ニトロアニリンが遊離します。この*p*-ニトロアニリンの生成速度を測定することにより試料中のロイシニアミノペプチダーゼ活性値を求めます。

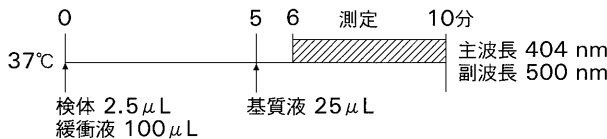


〔操作上の注意〕

- (1) 測定試料の性質、採取法
(イ) 採取後の検体は速やかに測定して下さい。
(ロ) 抗凝固剤のEDTAは負誤差を与えますので使用しないで下さい。
(ハ) 抗凝固剤のヘパリン、クエン酸塩、シュウ酸塩及び解糖阻止剤のフッ化ナトリウムは、通常使用量では測定値に影響を与えません。
- (2) 妨害物質・妨害薬剤
(イ) 溶血はわずかに負誤差を与えます。
(ロ) アスコルビン酸は測定値に影響を与えません。

〔用法・用量(操作方法)〕

- (1) 試薬の調製方法
緩衝液及び基質液はそのまま使用して下さい。
開封後は2~10℃保存で1か月以内に使用して下さい。
- (2) 必要な器具・器材・試料等
自動分析装置: TBA-nx360又は同等の機器
- (3) 測定法
〈TBA-nx360 又は同等の機器への適用〉
操作の詳細は機器の取扱説明書を参照して下さい。



〈LAP 活性値の求め方〉

反応で生成する*p*-ニトロアニリンのモル吸光係数より算出します。

〔測定結果の判定法〕

参考正常値⁽²⁾ 30~70 mU/mL (37℃)

〔性能〕

〈性能〉

- (1) 感度
(イ) 精製水を試料として操作した場合の吸光度変化は、0.005(ΔE/min)以下です。
(ロ) 特定活性の管理血清(LAP 100 mU/mL, 37℃)を試料として操作した場合の吸光度変化は、0.009~0.040(ΔE/min)の範囲内です。
- (2) 正確性
既知活性の管理用血清を測定するとき、既知活性の±15%以内にあります。
- (3) 同時再現性
同一検体を5回以上同時に測定するとき、吸光度変化のCV値は5%以下です。
- (4) 測定範囲
LAP 3~1000 mU/mL (37℃)です。(TBA-nx360による)

〈相関性試験成績〉

検体	血 清	血 漿
相関係数	r = 0.999 (n = 50)	r = 0.999 (n = 60)
回 帰 式	y = 1.01 x + 1.82	y = 0.961 x + 4.3
y	本品 (mU/mL, 37℃)	本品 (mU/mL, 37℃)
x	自動分析装置用試薬-HR LAP-HR (L-ロイシル- <i>p</i> -ニトロアニリド基質法, mU/mL, 37℃)	A社製品 (L-ロイシル- <i>p</i> -ニトロアニリド基質法, mU/mL, 37℃)

〈校正用の基準物質(標準物質)〉

社内標準

〔使用上又は取扱い上の注意〕

〈取扱い上(危険防止)の注意〉

- (1) 試薬が誤って目や口に入ったり、皮膚に付着した場合には、直ちに大量の水で洗い流し、必要があれば医師の手当等を受けて下さい。
基質液はpH 3以下の酸性溶液です。
- (2) 本品はアジ化ナトリウムを含有していますので、口や目に入らないよう、皮膚に付着しないよう注意して下さい。
- (3) 検体はウイルス等の感染の危険性を考慮して取り扱って下さい。
- (4) 検査にあたっては感染の危険を避けるため使い捨て手袋を着用して下さい。

〈使用上の注意〉

- (1) 試薬は指定された条件で保管し、使用期限を過ぎたものは使用しないで下さい。
- (2) 誤って凍結させた試薬は使用しないで下さい。正しい結果が得られないことがあります。
- (3) 試薬の開封後は装置内の試薬庫で保管して下さい。試薬庫から取り出して保存する場合は蓋を閉めて指定の条件で保存して下さい。
- (4) 本品中の容器、付属品は他の目的に転用しないで下さい。
- (5) 結合している試薬容器同士を外したり、他の試薬容器と組み合わせて使用しないで下さい。
- (6) 試薬容器に貼り付けてある試薬バーコードを汚したり傷つけたりしないで下さい。
- (7) 試薬容器に試薬の継ぎ足しはしないで下さい。
- (8) 本操作での測定単位は、国際単位(U/L, 37℃ = mU/mL, 37℃)です。
37℃において、1分間に1μmolの基質を変化させる酵素活性が1U/Lとなります。

〈廃棄上の注意〉

- (1) 廃棄に際しては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)及び排水基準に従って適切に処理して下さい。
- (2) 検体と接触した試薬及び試薬容器等は、感染の危険性がありますので、次亜塩素酸ナトリウム(有効塩素濃度 1000 ppm、1時間以上浸漬)又はグルタルアルデヒド(2%、1時間以上浸漬)による消毒処理あるいはオートクレーブ(121℃、20分以上)による滅菌処理を行ってから廃棄して下さい。
- (3) 検体、廃液等が飛散した場合には、次亜塩素酸ナトリウム(有効塩素濃度 1000 ppm)、グルタルアルデヒド(2%)等の消毒液を用いて拭き取って下さい。
- (4) 緩衝液は、防腐剤としてアジ化ナトリウムをそれぞれ0.1%含有しています。
アジ化ナトリウムは、銅や鉛などの重金属と結合してアジ化物を形成します。
重金属のアジ化物は、乾燥状態で衝撃により爆発する性質がありますので、排水後は、排水管に残留しないように十分量の水で洗い流して下さい。

〔貯蔵方法・有効期間〕

	(貯蔵方法)	(有効期間)
Lタイプワコー LAP	2~10℃保存	製造後1か年間

〔包装単位〕

(コード番号)	(品 名)	(識別記号)	(包 装)
461-79001	Lタイプワコー LAP	nx-c	セット (2カセット入り)

1カセット(試薬容器)中

① 緩衝液	32 mL
② 基質液	11 mL

〔主 要 文 献〕

- (1) Recommendations of the German Society for Clinical Chemistry : Z. Klin. Chem. Klin. Biochem., **10**, 291 (1972) .
- (2) 金井 泉, 金井正光 : 「臨床検査法提要」第31版, 657 - 660 (金原出版) (1998) .

〔問い合わせ先〕

富士フイルム 和光純薬株式会社

臨床検査薬 カスタマーサポートセンター

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町二丁目 4 番 1 号

Tel : 03-3270-9134 (ダイヤルイン)

製造販売元

富士フイルム 和光純薬株式会社
大阪市中央区道修町三丁目 1 番 2 号

Wako

20.03.19K01